

令和7年10月29日(水)



TEAM 戸上



千曲市立戸倉上山田中学校だより NO. 9 文責 福田菜津子

つばさ祭を終えて..

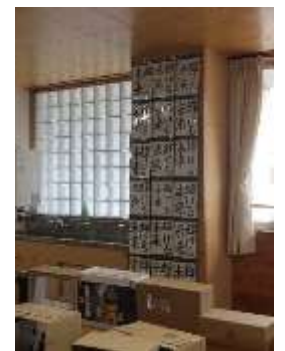
つばさ祭が終わり、1か月が過ぎました。「暑い、暑い」と言っていたのが嘘のように、今では「寒い、寒い」と言う言葉に変わり、季節の移ろいを感じます。

第61回つばさ祭は、テーマ「Dynamic つばさ～つなげるバトン 更に輝く戸上中～」のもと、木内会長から次の時代にバトンが確実につなげられました。

この2日間を通して、「日本一の応援」「素晴らしい歌声」そして心をそろえ、団結した「ダンス」が印象に残りました。来賓の方が「初めて応援みせてもらったが、圧倒された 元気をもらった」と言ってお帰りになりました。

また、各階に設置したバトンに、生徒のみなさん、保護者、地域の方々、職員から書いてもらった付箋がたくさん集まりました。付箋に書かれた内容を見ると、「残したいもの、つなげたいもの」として「日本一の応援」「歌やダンス」「きれいな校舎」「みんなの笑顔」など多くのことが書いてありました。(後日、生徒会で掲示する予定です)

みなさんはいかがだったでしょうか。このつばさ祭を通して、これまでの先輩たちが築き、積み上げてきた伝統、そして今、学校生活を送るみなさんが新たな伝統を築いていることに、気づいたのではないのでしょうか。来年、5年後、10年後更にその先の後輩につなげていける伝統をこれからも作っていきましょう。



北信地区図書館教育大会

3年生の国語の単元『おくの細道「夏草や」』から、松尾芭蕉の詠んだ歌をたどり、1泊2日のツアーを考え提案するという、ワクワクするような授業が公開されました。

魅力的かつ正確な情報を伝えるために、図書館の本やデジ図書信州から資料を集めます。また、プレゼン資料を作るに当たり、著作権について図書館司書の中村先生から話を聞きました。複数の資料を参考にした場合、出典を明記することなども学びました。

「20代の若者が行ってみたいと思うツアー」や「おじいちゃん、おばあちゃんにゆっくり旅行してもらえようようなツアー」など、相手意識をもちながらツアーを考えている姿がありました。どんなツアーが提案されるか、とても楽しみです。



1・2年読み聞かせの会

朝読書・学活の時間に合わせ、水晶の会、語り部の会のみなさんに読み聞かせをしていただきました。体育館からは琵琶の音、「祇園精舎の鐘の声…」と平家物語も聞こえてきました。

毎年、この時期に来ていただき、8回目になるそうです。続けて来てくださることに感謝です。

図書館の前には扇の的とかぶら矢も飾られています。『平家物語』など古典の世界にひたってみるのもおすすめです。平家落人伝説などの残る三大秘境について、調べてみるのもよいかもしれませんね。



【編集後記】

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

図書館前には、「先生のおすすめ本」が掲示されています。いろいろなジャンルの本が紹介されています。また、廊下のコルクボードにも生徒のみなさんのおすすめ本が紹介されています。図書館司書の中村先生に「この本が読みたい」と伝えと、すぐに調べてくれます。

私は、「乱読」のタイプで、あまりジャンルにこだわりません。最近、東大・京大で一番読まれたという『思考の整理学』、映画「国宝」が上映されていたので『国宝』の上下を読みました。次に、WOWOWでアニメ『薬屋のひとりごと』を見たので、続きを小説で読みました。「朝、頭を働かせるのが一番効率的である」という外山滋比古先生のお話に、納得。また、映画やアニメになっている本を読むと、それぞれの登場人物の描き方に、「(私だったら)この人はこの俳優が演じるといいかな」「アニメにするならこの声色かな」と勝手に配イメージしながら楽しめます。ぜひ、秋の夜長、本に親しんでみてください。